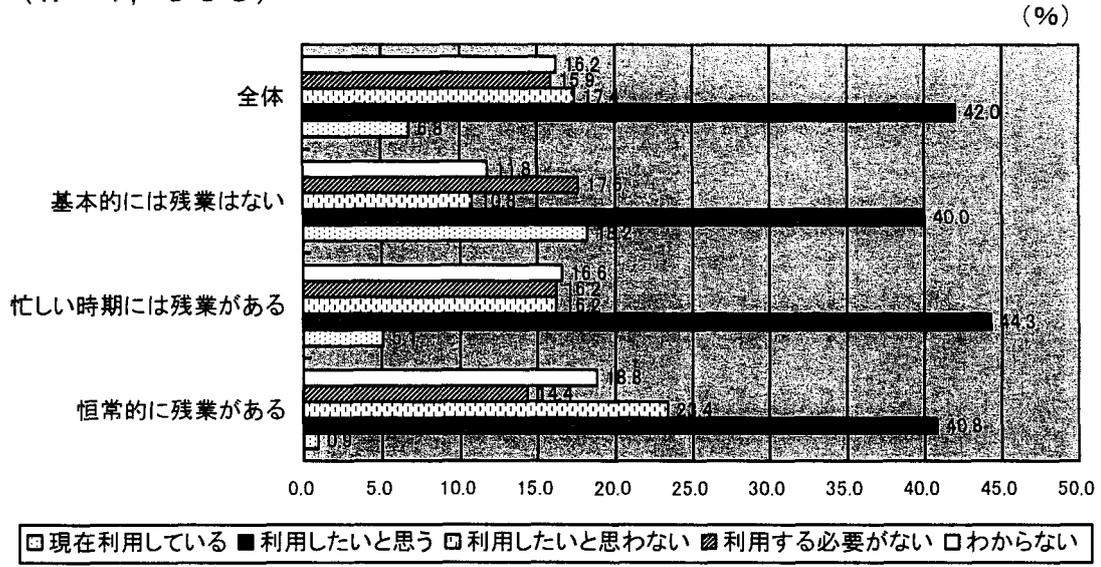


委員よりご指摘のあった参考データ

【第6回配付資料】

○育児のための短時間勤務制度の利用意向（勤務先の制度の有無にかかわらず）  
 (n = 1, 553)



注) 調査対象は「10人以上規模企業の40歳以下の正社員」

注) 回答者本人の普段の働き方とのクロス集計

出典：ニッセイ基礎研究所「今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査」(集計中)

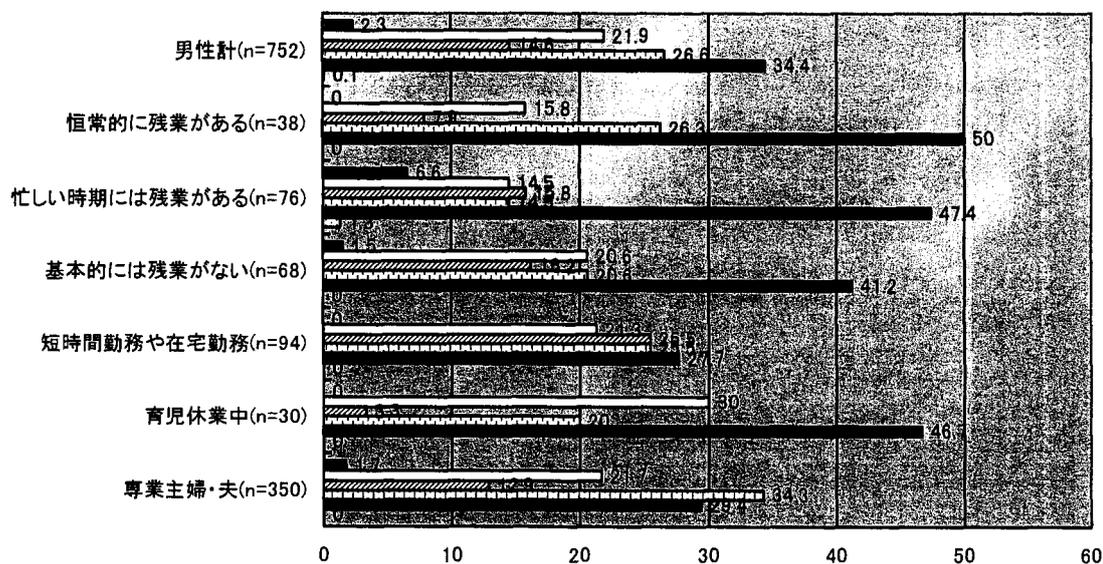
【委員指摘事項】

配偶者の働き方と短時間勤務制度の利用意向とのクロス

●配偶者の働き方別の育児のための短時間勤務制度の利用意向（勤務先の制度の有無にかかわらず）

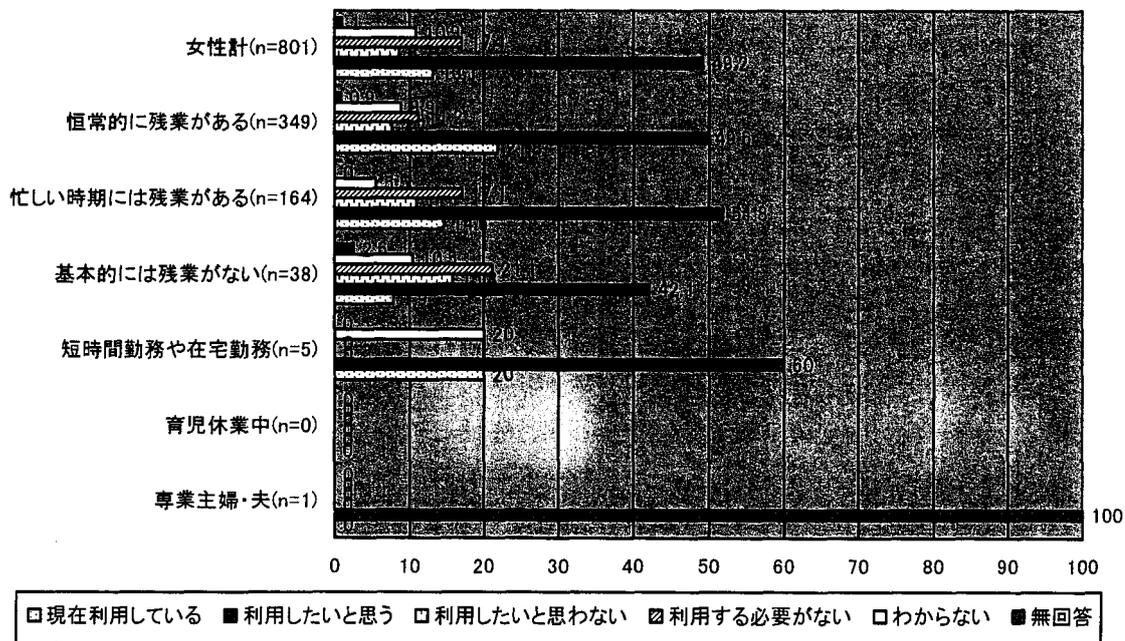
・妻の働き方別の短時間勤務制度の利用意向

(%)



・夫の働き方別の短時間勤務制度の利用意向

(%)



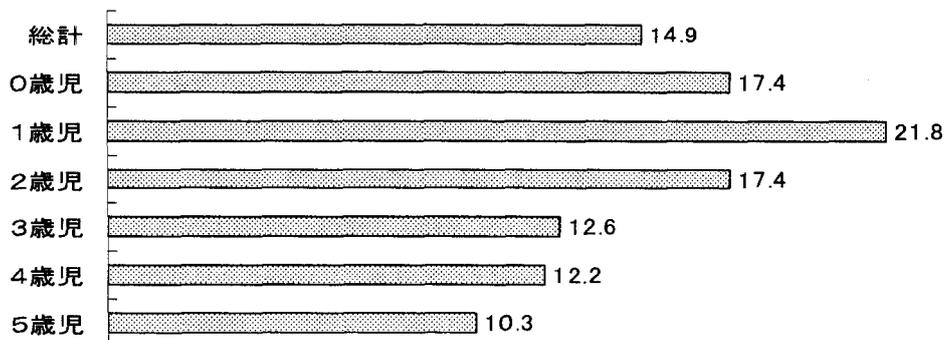
注) 調査対象は「10人以上規模企業の40歳以下の正社員」

注) 配偶者の普段の働き方とのクロス集計

出典：ニッセイ基礎研究所「今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査」(集計中)

【第7回配付資料】

○一年間で、病気・怪我により一人目の子どもを保育園に預けられなかった平均日数（日）（n = 1, 113）



注) 「伝染病」「軽い風邪や下痢、頭痛など」「その他の病気」「怪我」の4項目の合計を集計した日数。

注) 調査対象は、現在保育園に預けている子どもがいる女性労働者

出典：連合「子ども看護休暇に関する調査報告書」（2000年）

【委員指摘事項】

平均日数には、「0日」と回答した者を含んでいるか

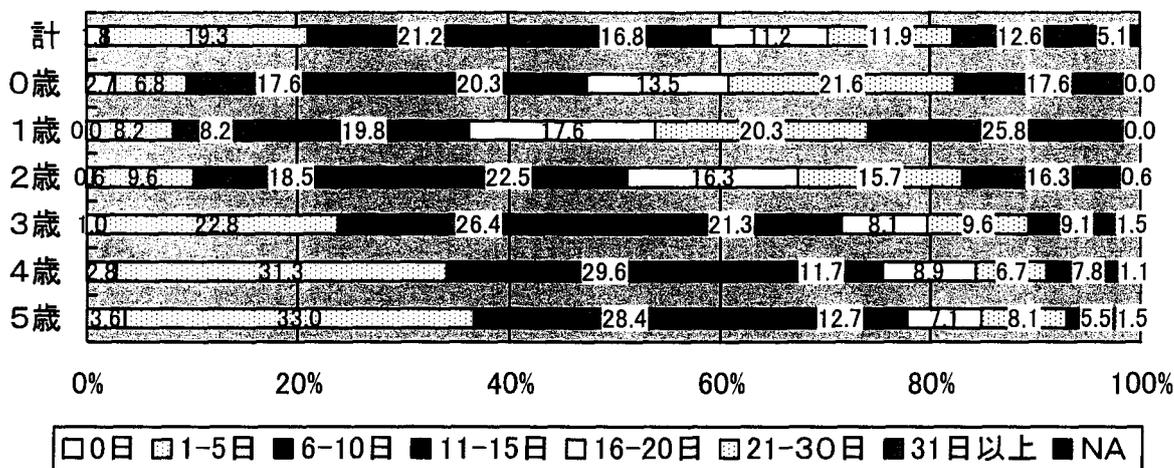
●一年間で、一人目の子どもを保育園に預けられなかった平均日数（日）  
（n = 1, 113）

	伝染病	軽い風邪 や下痢、 頭痛など	その他の 病気	怪我	小計	予防注 射	定期検 診	合計
総計	3.5	8.9	2.2	0.3	14.9	0.8	0.6	16.3
0歳	2.5	11.6	3.2	0.1	17.4	1.7	1.3	20.4
1歳	4.7	13.0	3.9	0.2	21.8	1.4	1.1	24.3
2歳	4.2	10.9	2.0	0.3	17.4	0.9	0.8	19.1
3歳	3.8	7.3	1.2	0.3	12.6	0.7	0.6	13.9
4歳	2.4	6.6	2.4	0.8	12.2	0.4	0.2	12.8
5歳	2.9	6.1	1.2	0.1	10.3	0.4	0.2	10.9

注) 「0日」という回答も含む。

上記資料はここをグラフ化したもの

●一年間で、一人目の子どもを保育園に預けられなかった日数別の割合  
(n = 1, 113)



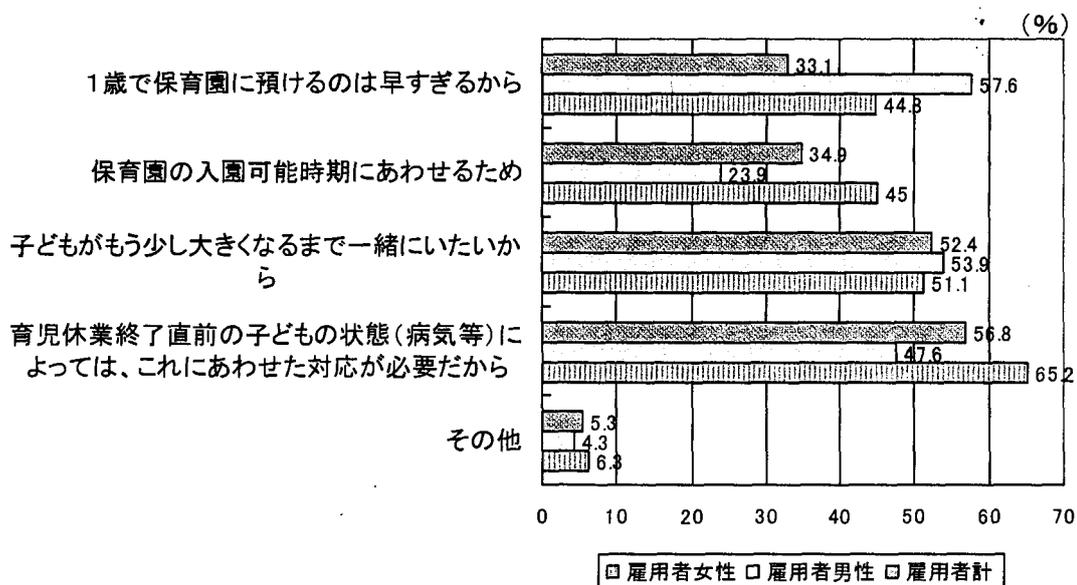
注) 「予防注射」「定期検診」も含む。

注) 調査対象は、現在保育園に預けている子どもがいる女性労働者

出典：連合「子ども看護休暇に関する調査報告書」(2000年)

【第7回配付資料】

○1歳を超えて育児休業することができるとよい理由 (雇用者計 n = 1, 125  
雇用者男性 n = 536 雇用者女性 n = 589 複数回答)



注) 調査対象は、より利用しやすい育児休業制度として「1歳を超えて育児休業をすることができる」と回答した者

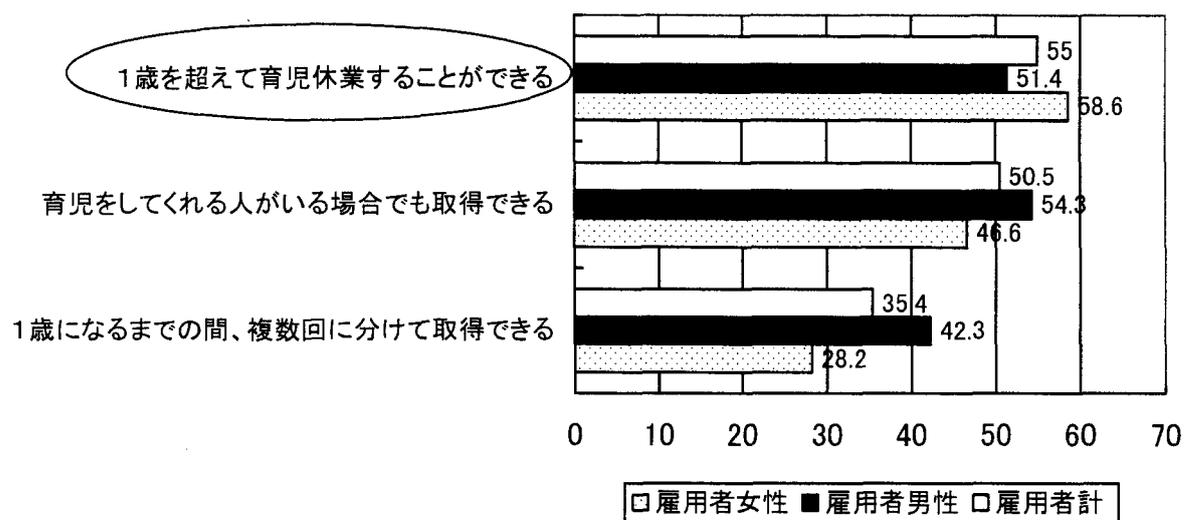
出典：日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査報告書」(平成15年)

【委員指摘事項】

「1歳を超えて育児休業することができる」と言った人の割合

●より利用しやすい育児休業制度（雇用者計 n = 2, 047 雇用者男性 n = 1, 042 雇用者女性 n = 1, 005 複数回答）

(%)



注) 調査対象は民間企業雇用者で就学前の子どもがいる男女

出典：日本労働研究機構「育児や介護と仕事の両立に関する調査報告書」（平成15年）

## 【第8回配付資料】

○ケース別にみた、育児休業制度の取得しやすさに関する認識の相違（企業調査、従業員調査）

	企業調査の結果	調査数 (n)	従業員調査の結果 (%)						
			取得しやすい	どちらかといえば取得しやすい	どちらかといえば取得しにくい	取得しにくい	無回答	「取得しやすい」計	「取得しにくい」計
A 女性が取得する場合	全 体	801	41.2	35.3	13.6	9.5	0.4	76.5	23.1
	取得しやすい	584	45.9	39.2	9.6	5.0	0.3	85.1	14.6
	取得しにくい	109	6.4	20.2	36.7	35.8	0.9	26.6	72.5
B 共働きの男性が取得する場合	全 体	306	1.6	9.8	31.7	55.6	1.3	11.4	87.3
	取得しやすい	56	3.6	17.9	37.5	41.1	0.0	21.4	78.6
	取得しにくい	212	1.4	9.0	30.2	57.5	1.9	10.4	87.7

注) 調査対象は「10人以上規模企業」、「10人以上規模企業の40歳以下の労働者（期間雇用者を除く）」。

注) 「企業調査の結果」にある「取得しやすい」は「取得しやすい」、「どちらかといえば取得しやすい」の計、「取得しにくい」は「どちらかといえば取得しにくい」、「取得しにくい」の計。

出典：ニッセイ基礎研究所「今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査」（集計中）

## 【委員指摘事項】

企業調査・従業員調査における「共働きの男性が取得する場合」と「女性が取得する場合」クロス

●育児休業の取得しやすさ（企業調査）

(%)

		Q4B 育児休業制度の取得しやすさ/共働きの男性が取得する場合					
		合計	取得しやす い	どちらかとい えば取 得しや すい	どちらかとい えば取 得しに くい	取得し にくい	無回答
Q4A 育児休業制度の 取得しやすさ 女性が取得する場合	合計 (n=763)	100.0	4.1	16.0	46.8	29.9	3.3
	取得しやすい (n=263)	100.0	11.8	28.9	41.8	16.3	1.1
	どちらかといえば取得しやすい (n=280)	100.0	0.0	15.0	58.9	25.7	0.4
	どちらかといえば取得しにくい (n=153)	100.0	0.0	1.3	52.9	45.1	0.7
	取得しにくい (n=41)	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
Q4A 育児休業制度の 取得しやすさ 女性が取得する場合	合計 (n=763)	100.0	4.1	16.0	46.8	29.9	3.3
	取得しやすい (n=543)	100.0	5.7	21.7	50.6	21.2	0.7
	取得しにくい (n=194)	100.0	0.0	1.0	41.8	56.7	0.5

●育児休業の取得しやすさ（個人調査）

(%)

		Q2B 育児休業取得/共働きの男性が取得する場合					
		合計	取得しやす い	どちらかとい えば取 得しや すい	どちらかとい えば取 得しに くい	取得し にくい	無回答
Q4A 育児休業制度の 取得しやすさ 女性が取得する場合	合計 (n=1,553)	100.0	1.5	10.4	36.1	50.3	1.7
	取得しやすい (n=573)	100.0	4.0	16.6	39.6	38.4	1.4
	どちらかといえば取得しやすい (n=569)	100.0	0.2	11.4	42.7	44.1	1.6
	どちらかといえば取得しにくい (n=240)	100.0	0.0	0.8	34.6	64.6	0.0
	取得しにくい (n=160)	100.0	0.0	0.0	3.8	95.6	0.6
Q4A 育児休業制度の 取得しやすさ 女性が取得する場合	合計 (n=1,553)	100.0	1.5	10.4	36.1	50.3	1.7
	取得しやすい (n=1,142)	100.0	2.1	14.0	41.2	41.2	1.5
	取得しにくい (n=400)	100.0	0.0	0.5	22.3	77.0	0.3

出典：ニッセイ基礎研究所「今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査」（集計中）

## 今後のスケジュール（案）

第 1 回～第 8 回	済
第 9 回 (4月25日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの意見の整理</li> <li>○個別課題についての検討 (短時間勤務等、父親も母親も育児にかかわることができる働き方の実現、再度の休業取得要件の見直し)</li> </ul>
第 10 回 (5月20日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実態調査結果の報告等 (今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査研究報告書、有期契約労働者の育児休業等の取得状況に関する調査)</li> <li>○個別課題についての検討 (仕事と介護の両立、期間雇用者、実効性の確保 等)</li> </ul>
第 11 回 (6月)	報告書素案の検討
第 12 回 (6月～7月)	とりまとめ